

会期

12月11日(木)
2026年 /
1月18日(日)



Samurai in Ukiyo-e: 忠孝の士



中山道広重美術館
Nakasendo Hiroshige Museum of Art

Webミュージアムショップ 公式ホームページ



hiroshige_ena

hiroshige_ena_museum

nakasendohiroshigemuseumofart



【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

○毎週水曜日は観覧無料、フリーウエンズデー¹
(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、
(株)デジタ

●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー²

(株)銀の森コーポレーション、

カネコグループ(カネコ・楽園住宅・木KeyPoint)、

(株)サラダコスモ ちこり村



■Exhibition

Samurai in Ukiyo-e: Loyalty and Filial Piety

December 11th

2026 /
January 18th



企画展



会期

12月11日(木)

2026年

1月18日(日)

December 11th

2026

/ January 18th

◇観覧料金

一般 520円

(20名以上の団体は420円)

※18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

◇休館日

毎週月曜日(ただし1月12日は除く)、12月26日(金)～2026年1月3日(土)までは年末年始休館、1月13日(火)

◇開館時間

午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

◇主催

恵那市、恵那市教育委員会、
(公財)中山道広重美術館

【関連イベント】

◇学芸員による作品ガイド
日時: 2025年12月21日(日)

午前10時30分～(30分程度)

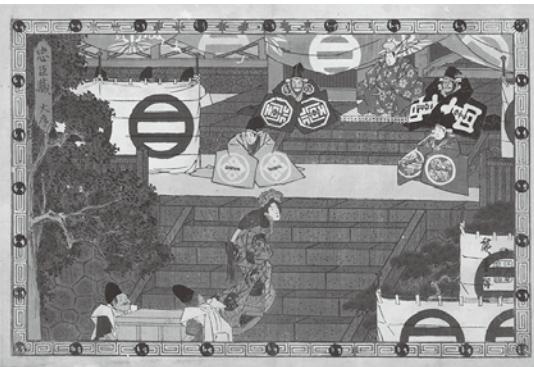
場所: 展示室1(1F)

◇美術館ボランティア幽遊会による概要説明
日時: 随時(要事前予約)

封建社会において、主君に尽くし親に孝行する「忠孝」の精神は、武士にとって果たすべき義務であり、それを全うすることが美德とされました。江戸時代には、この精神が戯曲や出版物を通じて庶民の間にも広く浸透し、当時の娯楽文化に大きな影響を与えました。中でも、無念の死を遂げた主君のために47人の義士が仇を討つまでを描いた「仮名手本忠臣蔵」などの忠臣蔵物と、暗殺された父の仇を討つために若き曾我兄弟が奮闘する「寿曾我対面」をはじめとする曾我物は、その代表格といえます。いずれも史実を下敷きにしながら創作を加え、忠孝の精神を体現する理想像が巧みに演出され、多くの人々に親しまれました。

本展では、江戸庶民に愛された、忠孝を主題とした数々の作品をご紹介する他、現在に至るまで愛され続ける名作「忠臣蔵」と「曾我物語」を深掘りします。物語の背景や魅力に触れ、改めてその奥深さをご堪能ください。

【主な出品作品】



歌川広重「忠臣蔵 大序」
当館蔵(田中コレクション)



歌川広重「忠臣蔵 夜打二 亂入」
当館蔵(田中コレクション)



■Exhibition

**Samurai in Ukiyo-e:
Loyalty and Filial Piety**



歌川国芳
「木曾街道六十九次之内
今須 曽我兄弟」
当館蔵
(田中コレクション)



中山道広重美術館

Nakasendo Hiroshige Museum of Art

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1
TEL (0573) 20-0522 FAX (0573) 25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
ウェブミュージアムショップ↓
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>